

2015 連合奈良 政策フォーラム・推薦議員懇談会報告

- 次 第 : ①主催者挨拶 小山淳二連合奈良会長
②民主党挨拶 前川清成民主党奈良県連代表
③基調講演 「連合 2016-2017 年度 政策・制度・要求と提言」
講師 連合本部総合政策局 総合局長 川島 千裕氏
④記念講演 「戦後 70 年と今後の国会動向」
講師 民主党代表代行 参議院議員 蓮舫 氏
⑤閉会挨拶 連合奈良 政策委員会 木村 和弘 委員長

連合奈良は、5月16日(土)15時~奈良ロイヤルホテル2Fロイヤルルームにおいて、2015 連合奈良政策フォーラム「働くことを軸とする安心社会の実現」を構成組織、推薦議員約130名が参加するなか開催するとともにフォーラム終了後、連合奈良推薦議員懇談会を開催した。



和を希求してきたものを180度転換する大変危険な方向に進んでいる。我々は国民に訴え世論を喚起しこれを止めていかなければならない。また、二度の廃案となった労働者派遣法を内容を修正せず、ほぼそのまま再度国会へ上程し、十分な説明もできないまま成立させようとしている。派遣は一時的・臨時的なもの、また均等待遇というのが国際的な考え方にもかかわらずそうしたことが全く入っていない。「一生派遣で低賃金」を固定化する今回の派遣法改悪は絶対阻止しなければならない。今回のフォーラムは、川島総合政策局長、蓮舫民主党代表代行のご講演もあり構成組織のみなさんも今一度、働くことを軸とする安心社会という目指すべき社会の実現のために理解を深めていただき、ともに頑張りましょう」と挨拶した。



こもった講演を頂いた。その後、民主党議員団より、3人が質問に立ちそれぞれの質問について、回答を得た。フォーラムの閉会では、連合奈良 政策委員会 木村 和弘 委員長より、先日閣議決定し国会審議が始まった安全保障法制の問題点を指摘し断固阻止すること、また翌日に迫った大阪市 廃止・分割構想いわゆる大阪都構想の住民投票について、最後の最後まで反対投票を呼びかけ必ず阻止することの決意を述べ参加者全員で再度確認しフォーラムは成功裏に閉会。その後、同ホテル鳳凰の間に会場を移し、連合奈良推薦議員懇談会を開催、親しく組合員との交流を図りました。

主催者を代表して、連合奈小山淳二会長は、「2015年5月14日、政府は、武力攻撃事態法、周辺事態法、自衛隊法等改正10法案を一括した「平和安全法制整備法案」と新規立法である国際平和支援法案を閣議決定した。国民への丁寧な説明や国民を巻き込んだ議論がない政権運営は極めて遺憾である。安全保障法制は、憲法及び国の基本政策に関わる重要課題であり、多くの国民がその内容と意味を理解した上で、合意形成をはかりながら進めるべきものである。時の政権が便宜的、意図的に憲法解釈を変更することは許されない。戦後70年、日本が戦争を放棄し、平

和を希求してきたものを180度転換する大変危険な方向に進んでいる。我々は国民に訴え世論を喚起しこれを止めていかなければならない。また、二度の廃案となった労働者派遣法を内容を修正せず、ほぼそのまま再度国会へ上程し、十分な説明もできないまま成立させようとしている。派遣は一時的・臨時的なもの、また均等待遇というのが国際的な考え方にもかかわらずそうしたことが全く入っていない。「一生派遣で低賃金」を固定化する今回の派遣法改悪は絶対阻止しなければならない。今回のフォーラムは、川島総合政策局長、蓮舫民主党代表代行のご講演もあり構成組織のみなさんも今一度、働くことを軸とする安心社会という目指すべき社会の実現のために理解を深めていただき、ともに頑張りましょう」と挨拶した。

講演では、連合本部総合政策局 総合政策局長 川島 千裕氏より、「連合 2016-2017 年度 政策・制度要求と提言」、特に重点政策を中心に講演を頂いた。また記念講演では、民主党代表代行 参議院議員 蓮舫 氏より、「戦後 70 年と今後の国会動向」というテーマに添って未来への責任を果たし元気な日本を将来世代に引き継ぐために今何が問題で、我々はどう行動していかなくてはならないのか、現在の国会状況に触れながら熱の

